

## コロナ禍における働き方アンケート結果

### 1 アンケート概要

#### (1) 目的

コロナ禍やその後の働き方に関する市民の考え方を把握し、労働者側の在宅勤務等のニーズを把握し、今後の産業振興における施策に活用するため。

#### (2) 対象

モニター 276名

#### (3) 回収数

211件（回答率76.4%）

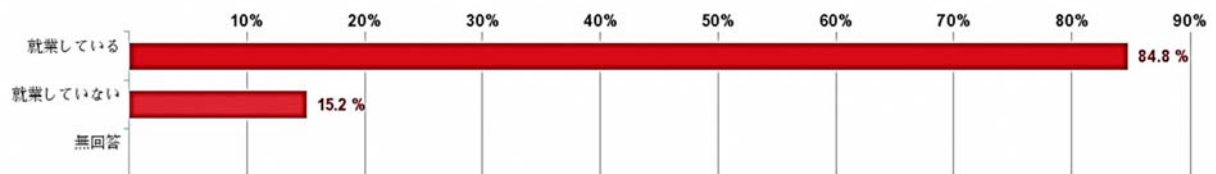
#### (4) 調査時期

令和2年8月27日（木）～令和2年9月11日（金）

### 2 アンケート

Q1 あなた（もしくは御家族のどなたか）は現在就業していますか。

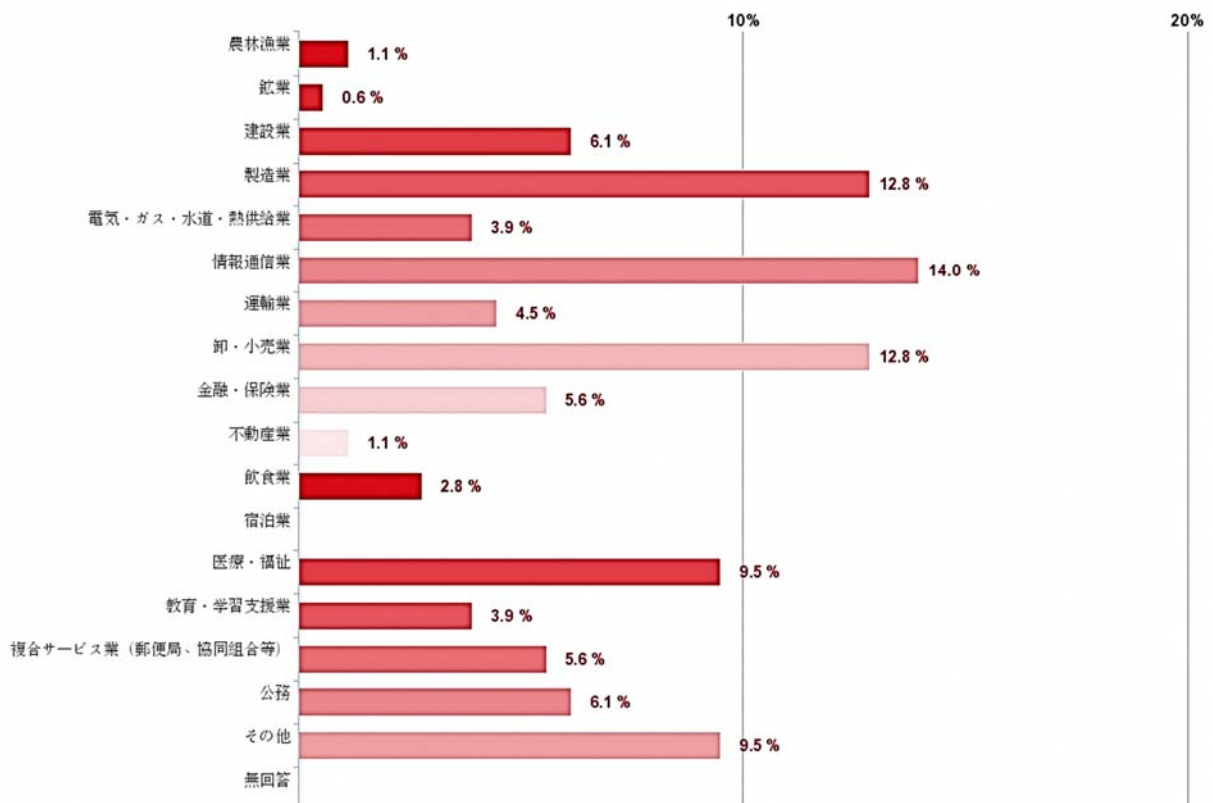
n=211



Q2 Q1で「就業している」と回答した方にお伺いします。

あなた（もしくは御家族のどなたか1人）の勤務先は、次の業種のうち、どれにあたりますか。

n=179



Q3 Q1で「就業している」と回答した方にお伺いします。

あなた（もしくは御家族のどなたか1人）の勤務先での業務内容について記入してください。（例：総務、人事）

n=179

総務・人事	11
財務・税務・経理・会計	6
監査	2
企画・開発	28
調査・研究	3
事務	17
接客・販売	14
看護・介護	10
保育	2
運輸	9
営業	15
経営	3
編集	2
教育	6
警察業務	2
コンサルティング	5
農業	2
管理職	3
施設管理	2
受付・オペレーター	5
商品管理	4
製造	2
その他	26

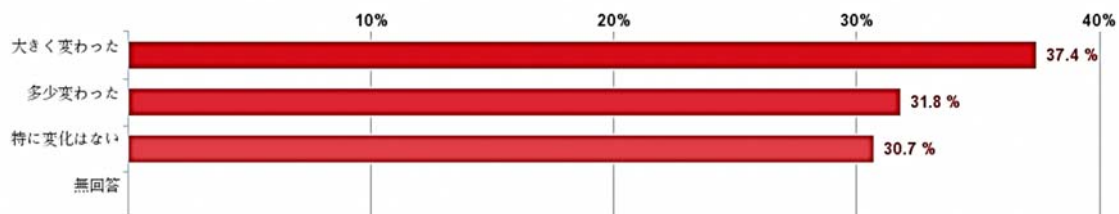
Q 4 あなた（もしくは御家族のどなたか 1 人）の勤務先で、緊急事態宣言発出以前から柔軟な働き方として実施している働き方について、あてはまるものを以下の選択肢からすべて選んでください。

n=179



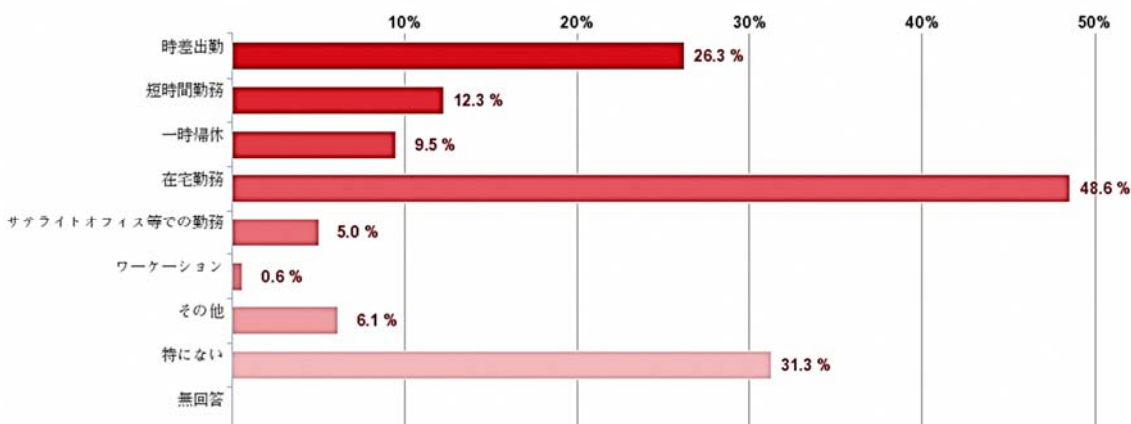
Q 5 あなた（もしくは御家族のどなたか 1 人）の勤務先では、緊急事態宣言を受けて働き方に変化はありましたか。

n=179



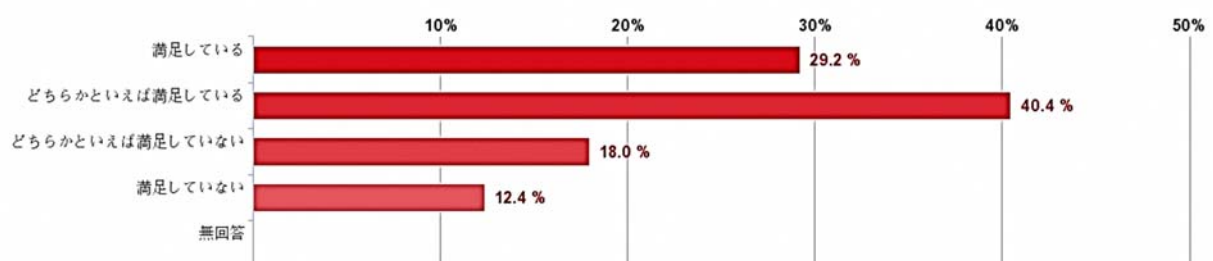
Q 6 緊急事態宣言発出前後で変わった働き方は具体的に何ですか。以下の選択肢から、あてはまるものをすべて選んでください。

n=179.



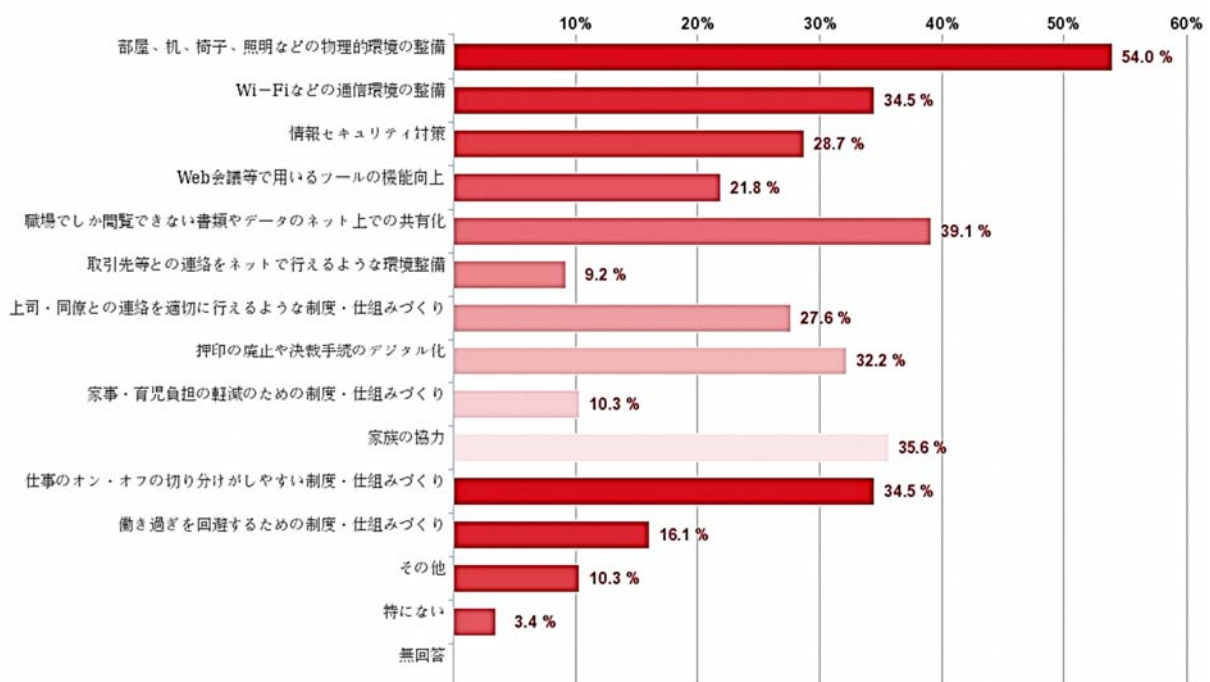
Q7 Q6で「在宅勤務」、「サテライトオフィス等での勤務」を回答した方にお伺いします。 自宅やサテライトオフィス等での勤務環境に満足していますか。

n=89



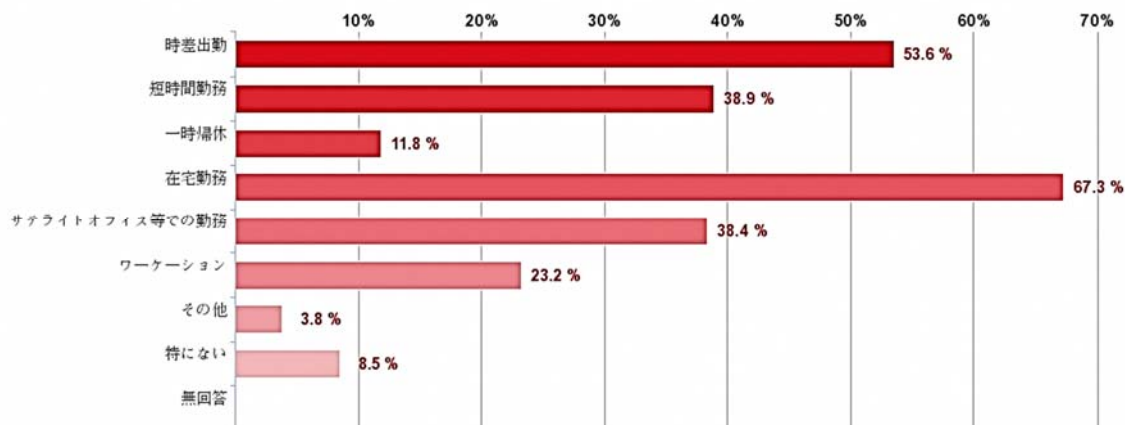
Q8 Q6で「在宅勤務」を回答した方にお伺いします。 自宅での勤務にあたり課題となることは何ですか。 以下の選択肢から、あてはまるものをすべて選んでください。

n=87



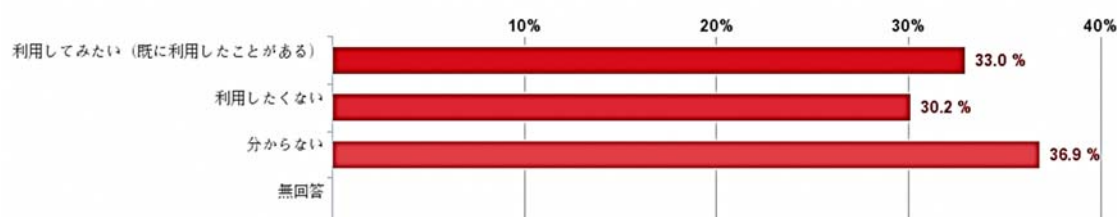
Q9 あなたが、今後、社会全体として取り組むべき柔軟な働き方だと思うことは何ですか。以下の選択肢から、あてはまるものをすべて選んでください。

n=211



Q10 緊急事態宣言中、在宅勤務が話題になりましたが、あなた（もしくは御家族のどなたか1人）は今後、在宅勤務を実施した場合、自宅以外のコワーキングスペースやシェアオフィスを利用してみたいと思いますか。

n=179



Q11 今までの質問の回答以外で、今後、柔軟な働き方を実践する上で必要だと思うことがあれば記入してください。（自由記載）

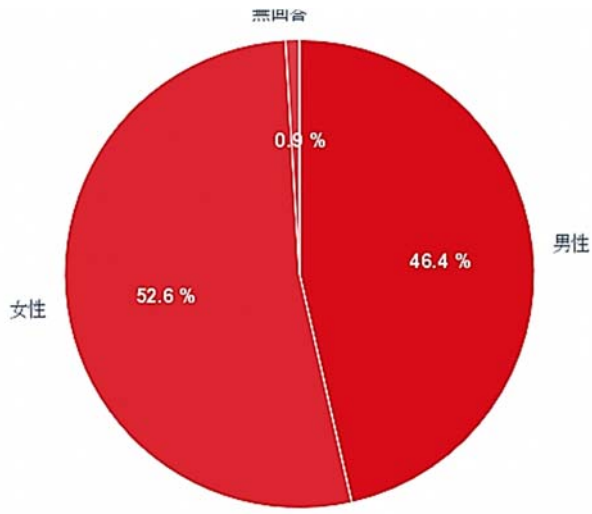
n=68 ※類似の意見は取りまとめています。

無料で職員全員のPCR検査
地方自治体、官公庁と民間人のオンライン会議
時間差出勤や在宅勤務の推奨・環境整備
在宅勤務時の機材用意等の補助金
風評被害や誹謗中傷など感染された方への配慮がとても大切
PCとWiFi環境などのインフラ整備
企業の多様な働き方への理解と行政の支援
学校現場では幼児児童生徒に対する直接的な指導の中で反応を受けて返していくということが大事である。在宅勤務では特に特別支援学校に在籍する障害のある幼児児童生徒に対して、オンライン授業などでは指導の効果を見出すことはとても困難である。そのため、そのよう

<p>な子どもたちに直接的な指導ができる環境をどう整えていくかが重要だと考える。柔軟な働き方を実践しつつ、子どもたちに対する教育の質を確保していくためにより考えていく必要がある。</p>
<p>自由に副業が行える環境、法整備</p>
<p>急にテレワークが始まったので、準備が不足していて、返って忙しかなっている。慌てて始めるのではなく、しっかり準備が必要。</p>
<p>WEBに関する教育やサポートの充実</p>
<p>経営者の柔軟性</p>
<p>新しい生活様式の提唱はコロナと切り離して考えるべき。</p>
<p>ネットワークや関連機器等の整備</p>
<p>新たな働き方に即した労務管理や人事評価</p>
<p>勤務時間や休日など、国の方針としてフレックス制度を推奨する事で密を作らない。現状では、在宅勤務が増えたとはいえ、通勤電車内はまだ密になっており、休日はスーパーなど量販店は人が多く密になっている。</p>
<p>会社上層部の意識改革</p>
<p>子育てや介護をしながらでも働けること。</p>
<p>自分の事ばかりじゃない思いやり</p>
<p>意見・発想の交換が重要： 必要に応じテーマ毎の電子リモートグループを設定。</p>
<p>企業の地方分散</p>
<p>業務量の削減、無駄な作業の削減</p>
<p>ベーシックインカムによる就業雇用不安をなくすこと。働き方のスタイルは自由度をもたせること。通勤がなくなれば交通費は不要でコロナ感染のリスクを劇的に減らせます。 企業は損失を給与減額やリストラで対処してしまい国民の大多数が貧窮するので、ベーシックインカムによる生活不安がない状況でしかこの国と今後のコロナ禍の時代では解決しないと考えています。</p>
<p>在宅勤務等に向かない仕事もある。</p>
<p>PC 関連の情報入手。 安い PC の購入方法の取得。 PC 技術の取得と向上。</p>
<p>電車を使わない、地元で働けることが重要</p>
<p>サテライトオフィスの充実</p>
<p>承認時の押印文化の削減もしくは認証方法の変更</p>
<p>時差出勤だと電車の本数が極端に減ってしまい時間の調整が難しかった。終電を早めるのは構わないが日中時間帯の電車の本数をもう少し増やしてほしい</p>
<p>企業が働く人の気持ちを大切にすること、 収益アップばかりを考えないこと。</p>

## 【基本情報】

### ○性別



### ○年齢構成

